

【開催期間】 平成 24 年 4 月 13 日(金) ~ 7 月 27 日(金)

【時間】 各回 10 時 20 分 ~ 11 時 50 分

【会場】 山口県立大学 6 号館 F204 教室

【受講料】 1 回 500 円 (10 回以上 5,000 円)

【受講申込〆切】 平成 24 年 4 月 11 日 (水)

# 環境問題

全 15 回講義

【講師】 国際文化学部教授 安溪 遊地

福島第一原発事故での原発安全神話の崩壊、続く放射能安全神話の崩壊…。「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という“常識”も崩壊した今、物事を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験を学ぶなかで、身の周りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育て、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。本年度講義では、「食生活と環境」をひとつの柱に、現場の声に耳を傾けていきます。自分の生活を再点検しながら深く考え、足元から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかんでみませんか。

お申し込み・問い合わせについての詳細は裏面をご覧ください。

①	4/13 (金)	出過ぎる杭は打たれない -この講義の進め方
②	4/20 (金)	想定されていた地震・津波・原発災害 -天災から人災へ
③	4/27 (金)	携帯電話は安全か？ 電磁波のことを知っていますか？ (県立大教授・新谷 明雲さんを迎えて)
④	5/11 (金)	岩国からのメッセージ -基地被害から生活を守る (元岩国市長・井原 勝介さんを迎えて)
⑤	5/18 (金)	グローバルからローカルへ -「半農半X」の楽しみを生きる
⑥	5/25 (金)	あったか村においてよ -人の健康・地域の健康・地球の健康を守る (阿武町・白松 博之さんを迎えて)
⑦	6/1 (金)	先住民族の教え -アイヌ民族と沖縄・八重山の人々の世界観に学ぶ
⑧	6/8 (金)	スペイン・ナバラ自治州の持続可能性への挑戦 -わずか 20 年で 70% 電気エネルギー自給を実現
⑨	6/15 (金)	市民科学者のできること -上関原発予定地の“奇跡の海”の生物多様性を守る
⑩	6/22 (金)	化石燃料から再生可能エネルギーへ -地球 1 個分の暮らし (県立大教授・新谷 明雲さんを迎えて)
⑪	6/29 (金)	知る・愛する・守る -アフリカの森と屋久島の森を守る人々との交流
⑫	7/6 (金)	安心安全の暮らしのために(1) -本当にこれを食べてもいいのですか？
⑬	7/13 (金)	安心安全の暮らしのために(2) -身の回りのいのちの声に耳をすます (山口市・安溪 貴子さんを迎えて)
⑭	7/20 (金)	黙っていてあとで後悔するのはいやですね -いま足元からできること
⑮	7/27 (金)	だまされないために -知るは難く行うは易し(孫文のことば)



お申し込み・問い合わせ

電話、FAX またハガキで、4月11日(水)までに

下記にお申し込みください。

電話・FAX 083-928-3495

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

平成24年度 山口県立大学前期公開授業

## 「環境問題」

受講申込書

- 部分受講もできます。
- 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証」を授与いたします。

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
電話・FAX 番号	
受講希望 (いずれかに○をお付けください)	全回受講      部分受講      (      回 )

